

文京区アカデミー推進計画策定協議会

第4回 文化芸術分科会 次第

日時：平成22年8月4日（水）18:30～20:30

於：文京シビックセンター21階 2101会議室

- 1 開会
- 2 はじめに
- 3 体系づくりに向けた項目（案）の検討
- 4 事業（案）の検討
- 5 骨子（案）の検討
- 6 閉会

《配布資料》

【資料文化－第8号】体系づくりに向けた項目（案）

【資料文化－第9号】事業（案）とりまとめ資料

【資料文化－第10号】分野別計画骨子（案）

体系づくりに向けた項目（案）

| | | (分野別の目標) | (基本的な方向) |
|--|---|--------------------------------|-----------------------------|
| ◎きっかけづくり ◎ニーズを満たすため ◎活動を行うにあたって必要な資源 ◎豊かで潤いある生活のために | 1 | だれもが文化芸術に親しむことのできる機会の充実 | (1) 鑑賞の機会と場所の提供・充実 |
| | | | (2) 参加・創造・成果披露の機会と場所の提供・充実 |
| | | | (3) 地域の伝統や歴史に親しむ機会と場所の提供・充実 |
| | | | (4) だれもが鑑賞・参加しやすい仕組みづくり |
| ◎区民の主体的な活動を支える | 2 | 文化芸術活動を豊かにするための情報提供、相談体制の整備・充実 | (1) 文化芸術関連の情報収集・整理 |
| | | | (2) 分かりやすい情報提供と幅広い情報発信 |
| | | | (3) 相談体制の整備・充実 |
| ◎計画推進のための仕組みづくり | 3 | 「文の京」の文化や歴史を未来に伝える仕組みづくり | (1) 「楽しむ人」づくりの推進 |
| | | | (2) 活動する人・団体への支援 |
| | | | (3) 伝える人の育成と発掘の推進 |
| | | | (4) 人材活用の推進 |
| ◎計画推進のための仕組みづくり (計画全体へ統合予定) | 4 | 人、組織、施設などの連携・協働 | (1) 区民や地域との連携・協働 |
| | | | (2) 大学や教育機関などとの連携・協働 |
| | | | (3) 各種文化施設との連携・協働 |
| | | | (4) 企業・団体との連携・協働 |
| ◎計画推進のための仕組みづくり (計画全体へ統合予定) | 5 | 計画推進体制の強化 | (1) 推進体制の強化 |
| | | | (2) 各種事業の満足度向上の仕組みづくり |

<凡例>

●:分科会や意見シートで出た事業案、○:現行計画より継続する事業案、□:その他の事業案

| 分野別の目標 | 基本的な方向 | 事業例(区の実施事情、委員からの意見等) | 事業のねらいや実施する内容等のキーワード |
|--------|---|---|--|
| 1 | だれもが文化芸術に親しむことのできる機会の充実 | | |
| | (1)鑑賞の機会と場所の提供・充実 | | |
| | ○文化・芸術に親しみ、区民等が交流する参加型事業の実施 | ○文化・芸術に親しみ、区民等が交流する参加型事業の実施 | ○著名オーケストラや吹奏楽団等との提携、●区内美術館・博物館の出張展示、●月1回の美術の場の開催、●書初大会、席書大会の開催、●書の甲子園の開催、○演劇の学び・演じ、オペラの公演を目標とした講習会、地域コミュニティーの活性化、●文の京めぐり |
| | ●アートのある街、○「アートウォール・シビック」への作品展示 | ●アートのある街、○「アートウォール・シビック」への作品展示 | ○シビックセンターの壁面の活用等、●街の公共空間にアートを展示、○区民が身近に芸術に触れる機会の提供、○若手芸術家の育成 |
| | ○親子のふれあいを深める活動の助成 | ○親子のふれあいを深める活動の助成 | ○親子と一緒に生のクラシック音楽演奏に触れるなど |
| | (2)参加・創造・成果披露の機会と場所の提供・充実 | | |
| | ○「文の京文化発信プロジェクト」 | ○「文の京文化発信プロジェクト」 | ○文京区らしさを生かした演劇、音楽、伝統芸能、美術などの芸術文化の創造・発信、事業を通じた交流 |
| | ○文京アカデミア講座(教養講座)の実施 | ○文京アカデミア講座(教養講座)の実施 | ○教養を学ぶ講座の実施 |
| | ○文京いきいきアカデミア講座(文京区高齢者大学)の実施 | ○文京いきいきアカデミア講座(文京区高齢者大学)の実施 | ○文京いきいきアカデミア講座(文京区高齢者大学) |
| | ○文京お届け講座の実施 | ○文京お届け講座の実施 | ○区民の自主的な学習活動の支援、職員の意識改革、区と区民との協働関係の醸成 |
| | ○ふれあいのつどい事業 | ○ふれあいのつどい事業 | ○「クイズぶらりdeさんぽ」などにより、区民の区内文化・芸術関連施設、名所・旧跡等の理解、アカデミー育成人材の活動の活性化、●ふるさと歴史館拡大強化策 |
| | (1(1)再掲) ●アートのある街、○「アートウォール・シビック」への作品展示 | (1(1)再掲) ●アートのある街、○「アートウォール・シビック」への作品展示 | ○シビックセンターの壁面等、●街の公共空間にアートを展示、○●区民が身近に芸術に触れる機会の提供、○若手芸術家の育成 |
| | ○楽器演奏クリニック | ○楽器演奏クリニック | ○区内在住・在学の中学校・高等学校の吹奏楽部員が対象、著名オーケストラや吹奏楽団等と提携し、管楽器の楽器演奏クリニック及び模範演奏 |
| | ○区内公立・民間施設等の開放要請 | ○区内公立・民間施設等の開放要請 | ○区内公立施設や民間団体・企業等の所有する施設の地域開放の要請 |
| | ○文京アカデミアゼミ修了生の登用 | ○文京アカデミアゼミ修了生の登用 | ○文京アカデミア1日体験フェアの企画・運営、学習相談会の相談員活動 |
| | ●文の京文化祭の開催 | ●文の京文化祭の開催 | ●文化祭を4年に1度開催、「文化祭実行委員会」を区民で組織、その後の文化芸術分野での推進母体とする |
| | ●文化芸術を体験する機会の創設 | ●文化芸術を体験する機会の創設 | ●歌舞伎に親しむ、●楽器に触れる、●低料金での写生会、●書道講座(かな、漢字、篆刻の講座)、●(1(1)再掲)書初大会、席書大会、●(1(2)再掲)書の甲子園、●区民歌声集会など |
| | □障害のある人の文化芸術・生涯学習講座への参加の機会の確保 | □障害のある人の文化芸術・生涯学習講座への参加の機会の確保 | □障害のある人であっても、障害の程度に応じて文化芸術に親しむことのできる講座を開催 |
| | (3)地域の伝統や歴史に親しむ機会と場所の提供・充実 | | |
| | ○史跡めぐり | ○史跡めぐり | ○地域の歴史・文化財の紹介と啓発、ふるさと歴史館友の会との協働、□歴史体験 |
| | ○文京アカデミア講座(地域)、文京いきいきアカデミア | ○文京アカデミア講座(地域)、文京いきいきアカデミア | ○地域に関する講座の創設、地域の現状や歴史・伝統文化の学習機会 |
| | ○(仮称) 鷗外記念館の新設 | ○(仮称) 鷗外記念館の新設 | ○「(仮称) 森鷗外記念館整備検討委員会報告書」(平成21年3月)に基づき新築整備 |
| | ○小・中学生のための歴史教室 | ○小・中学生のための歴史教室 | ○区内在住、在学の小・中学生を対象、歴史・文化についての教室を開催、文京区への興味と愛着心 |

<凡例>

●:分科会や意見シートで出た事業案、○:現行計画より継続する事業案、□:その他の事業案

| 分野別の目標 | 基本的な方向 | 事業例(区の実施事情、委員からの意見等) | 事業のねらいや実施する内容等のキーワード |
|---|-------------------------------|--|--|
| | (4)だれもが鑑賞・参加しやすい仕組みづくり | | |
| | | ●区民芸術文化際 | ●年1回開催、区の施設のあらゆる場所を使い、区民による芸術文化の発表・展示・公演・体験教室 |
| | | ●出張指導 | ●書道(特に書初)、茶道、華道、礼法などについて、小・中学校や老人ホームで開催 |
| | | ○文京eラーニング | ○外出が困難な障害者や高齢者や時間に制約のある社会人などを対象、特定の講座を自宅で閲覧できるシステム |
| | | ○学習資材等の貸出しの充実及び有効活用 | ○学習や地域活動に必要な資材や視聴覚学習資料の貸し出し、シビックシネマサロンを開催(毎月第3金曜日) |
| | | ○講座・講演会等での保育室の設置 | ○幼児を持つ親の学習活動の参加、講座・講演会等の開催時に保育室を設置 |
| | | ○講座・講演会等での手話通訳者や視覚障害者ヘルパーの設置 | ○障害のある人も講座・講演会等に参加、希望者に手話通訳者、視覚障害者ヘルパーを配置、□ユニバーサルデザインによる事業・施設運営 |
| | | □文化財案内板の外国語表示 | □文化財案内板の外国語表示(英語、中国語、ハングルなど) |
| 2 文化芸術活動を豊かにするための情報提供、相談体制の整備・充実 | | | |
| | (1)文化芸術関連の情報収集・整理 | | |
| | | ○文化芸術関連情報の収集 | ○行政関係及び民間施設など幅広く多様な文化芸術情報の収集、区民等への提供、○高校や大学の公開講座、社会人入学などに関する情報の収集、 |
| | | ●文化芸術ネット | ●収集した文化芸術に関する情報を提供し、区、参加者及び活動者などが相互に情報をやりとりできる場をウェブ上に構築、□文化芸術関連情報のデータベースの作成 |
| | | ○文京アカデミア講座案内、指定管理者HPによる講座・講演会案内及び申込受付 | ○行政関係及び民間施設など幅広く文化芸術・生涯学習・スポーツに関する多様な情報の収集、講座案内、区報、指定管理者が発行する機関紙・広報紙などの活字メディア、指定管理者HP内への講座案内の掲載。講座申込の受け付け(はがき、インターネット) |
| | (2)分かりやすい情報提供と幅広い情報発信 | | |
| | | (2(1)再掲)○文化芸術関連情報の収集 | ○行政関係及び民間施設など幅広く多様な文化芸術情報の収集、区民等への提供、○高校や大学の公開講座、社会人入学などに関する情報の収集 |
| | | (2(1)再掲)○文京アカデミア講座案内、(財)文京アカデミーHPによる講座・講演会案内及び申込受付 | ○行政関係及び民間施設など幅広く文化芸術・生涯学習・スポーツに関する多様な情報の収集、講座案内、区報、指定管理者が発行する機関紙・広報紙などの活字メディア、指定管理者HP内への講座案内の掲載。講座申込の受け付け(はがき、インターネット) |
| | | (2(1)再掲)●文化芸術ネット | ●収集した文化芸術に関する情報を提供し、区、参加者及び活動者などが相互に情報をやりとりできる場をウェブ上に構築、□文化芸術関連情報のデータベースの作成 |
| | | □文化芸術カレンダーの作成 | □区報もしくはアカデミースクエアなどへの掲載、インターネットでの閲覧 |
| | (3)相談体制の整備・充実 | | |
| | | □指定管理者等での相談対応 | □相談対応(窓口、電話、メール) |
| | | □イベントにおける相談ブース設置 | □イベントにおける相談ブース設置、相談できる人材の確保 |

<凡例>

●:分科会や意見シートで出た事業案、○:現行計画より継続する事業案、□:その他の事業案

| 分野別の目標 | 基本的な方向 | 事業例(区の実施事情、委員からの意見等) | 事業のねらいや実施する内容等のキーワード |
|-----------------------------------|---|---|----------------------|
| 3 「文の京」の文化や歴史を未来に伝える仕組みづくり | | | |
| (1)「楽しむ人」づくりの推進 | | | |
| | (1 (1) 再掲) ●アートのある街、○「アートウォール・シビック」への作品展示 | ○シビックセンターの壁面等、●街の公共空間にアートを展示、○●区民が身近に芸術に触れる機会の提供、○若手芸術家の育成 | |
| (2)活動する人・団体への支援 | | | |
| | ○社会教育関係団体の登録 | ○区民の自主的な文化芸術・生涯学習・スポーツの促進、要件を満たす団体の社会教育関係団体としての登録 | |
| | ○団体の連絡会の設置 | ○社会教育関係団体の相互連携、連絡会の開催 | |
| | □社会教育関係団体への講師派遣 | □社会教育関係団体への講師派遣 | |
| | ●優良企画展の開催 | ●申込のある展覧会の開催、文京美術会の審議を経て実行 | |
| (3)伝える人の育成と発掘の推進 | | | |
| | ○文化芸術・生涯学習関連の人材育成講座の実施 | ○文京アカデミアサポーター養成講座、生涯学習司養成講座、インタープリター養成講座、□文化芸術・生涯学習関連の活動リーダーの育成 | |
| | ○文京アカデミアゼミの実施 | ○文京アカデミー構想の人づくりネットワークの推進、地域に貢献できる人材育成 | |
| | ○文化芸術・生涯学習関連の人材による自主的な講座の実施 | ○学習推進委員の区民公募、講座の企画・運営、文の京生涯学習司による講座の企画、文京アカデミアサポーターによる講座運営担当者の公募 | |
| | ○青少年リーダーの育成 | ○青少年リーダーによるキャンプ・オーバーナイトウォークなどの企画・運営、参加者(小中学生中心)のリーダーシップの育成 | |
| | ○青少年委員活動への支援 | ○青少年委員への研修会の実施など、青少年委員活動への支援 | |
| (4)人材活用の推進 | | | |
| | (1 (2) 再掲) ○ふれあいのつどい事業 | ○「クイズぶらりdeさんぽ」などにより、区民の区内文化・芸術関連施設、名所・旧跡等の理解、アカデミー育成人材の活動の活性化、●ふるさと歴史館拡大強化策 | |
| | ○区民プロデュース講座 | ○文化芸術に関連する区民の学習の成果の活用、個人・NPO等団体が企画運営する講座の公募実施 | |
| | ○文化芸術人材バンクの活用 | ●区民の特技データベースの作成、○生涯学習司やインタープリター等の人材活用、学習の成果を地域に生かしていく事業の展開 | |
| 4 人、組織、施設などの連携・協働 | | | |
| (1)区民や地域との連携・協働 | | | |
| | ●区内公園での野原の保存 | ●なるべく舗装せず、いくつかは野原にする | |
| | □芸術家の活動紹介 | □区内在住・区にゆかりのある芸術家の活動紹介 | |
| | ○近隣区との連携強化の検討 | ○学習財産のトレード、□行政境界区域住民の相互の受講、など | |

<凡例>

●:分科会や意見シートで出た事業案、○:現行計画より継続する事業案、□:その他の事業案

| 分野別の目標 | 基本的な方向 | 事業例(区の実施事情、委員からの意見等) | 事業のねらいや実施する内容等のキーワード |
|--------------------|-----------------------------|---|---|
| | (2)大学や教育機関などとの連携・協働 | | |
| | | ○区内大学等との連携の拡大 | ○大学は文化的資産、区と大学の相互協力、文化・教育の学びの場としての賑わい、○大学の人材を、各種審議会等の委員として活用 |
| | | ○大学等と連携を図るための拠点づくり | ○大学、教育関係事業者等との連携の核となる新たな拠点づくり |
| | | ○区内大学の公開講座・講演会の後援 | ○大学公開講座・講演会の事業内容の広報等の後援 |
| | | ○大学プロデュース講座の実施 | ○大学の持つ高度・専門的な学習機能や人材を活用、大学プロデュース特別講座として大学学長の講演会を実施、●法律、文学、社会学など |
| | | ○大学の人材の講師や指導者としての活用 | ○大学プロデュース講座、大学プロデュース特別講座の充実、区内大学の人材活用の促進 |
| | | ○区内大学学長懇談会の実施 | ○区内大学学長懇談会の開催 |
| | | ○大学施設の開放要請 | ○区内大学の文化芸術・体育施設等の区民開放 |
| | | ●親子教室 | ●区の史跡探訪、庭園、墓地などの散策、スポーツなどに親子、祖父母と孫で参加 |
| | (3)各種文化施設との連携・協働 | | |
| | | ●区内産業や文化の継承 | ●ふるさと歴史館に区内の職人や古典芸能の師匠のリストを備え公開、区内医療機店の古い医療器具の収集 |
| | | ●ミュージネットの強化 | ●「ミュージネット加盟館めぐり」など、座学と街歩きを取り混ぜた講座をシリーズで開講。「文化芸術司」による講座の開設・運営 |
| | | (4(2)再掲) ●親子教室 | ●区の史跡探訪、庭園、墓地などの散策、スポーツなどに親子、祖父母と孫で参加 |
| | | (4(1)再掲) ●アートのある街、○「アートウォール・シビック」への作品展示 | ○シビックセンターの壁面の活用等、●街の公共空間にアートを展示、○区民が身近に芸術に触れる機会の提供、○若手芸術家の育成 |
| | | □美術館・博物館と連携した体験学習 | □ふるさと歴史館等との連携 |
| | (4)企業・団体との連携・協働 | | |
| | | ○文化・芸術に親しむ機会の提供 | ○著名オーケストラや吹奏楽団等との提携、●区内美術館・博物館の出張展示、●月1回の美術の場の開催、など |
| | | ●文化芸術を体験する機会の創設 | ●歌舞伎に親しむ、●楽器に触れる、●低料金での写生会、●書道講座(かな、漢字、篆刻の講座)、●(1(1)再掲)書初大会、席書大会、●(1(2)再掲)書の甲子園、●区民歌声集会など |
| | | ●区内イベントにおける団体との協働 | ●区のイベントのとき、カメラや絵のクラブによる風景の撮影や描写 |
| | | ○メセナ講座の実施 | ○社会貢献活動の一貫、民間企業から講座の企画・提案を募り協働実施 |
| | | □アートフリーマーケットの開催 | □文化芸術・生涯学習等に関するフリーマーケット |
| 5 計画推進体制の強化 | | | |
| | (1)推進体制の強化 | | |
| | | ○文京区アカデミー推進計画策定協議会 | ○学識経験者、区内団体、関連団体、区民等で構成する協議会 |
| | | □区民、大学、企業・団体、区との懇談会 | □生涯学習に携わる関係者との懇談会を開催 |
| | (2)各種事業の満足度向上の仕組みづくり | | |
| | | □PDCAサイクルによる事業運営管理 | □行政評価の一環 |

分野別計画骨子（案）

I 文化芸術

1 だれもが文化芸術に親しむことのできる機会の充実

【現状と課題】

◆ 現状

本区は森鷗外や樋口一葉、夏目漱石といった文豪たちが居住したことで知られ、現在でも区内には多くの文学史跡が残されています。また、根津神社や護国寺などの神社仏閣、小石川後樂園や六義園といった大名屋敷に由来する庭園などの様々な歴史的資源が存在しています。そのほか、ふるさと歴史館などの地域の歴史や生活文化に親しむことのできる施設や、シビックホールなど文化芸術に関する催しができる場所もあります。

このような歴史や文化の香り高い環境を活かし、本区では、史跡めぐりや著名なオーケストラ等との提携など、区民が文化芸術に親しむことのできる機会の充実を図ってきました。

一方、調査では、文化芸術活動に「参加したことがある」27.3%、「鑑賞したことがある」62.3%、「参加したことも鑑賞したこともある」は25.0%となり、「参加したことも鑑賞したこともある」は特に男女ともに60歳代以上で割合が高い結果となりました。

こうしたことより、文化芸術活動を楽しむ人の裾野を広げ、区民の文化芸術活動がさらに活発なものとなるためには、鑑賞を楽しむことのできる機会の充実が重要な点であると考えられます。

また、参加という点においては、今後取り組みたい分野として「音楽」「美術」「舞台芸術」が高くなっています。しかし一方で、参加も鑑賞もしなかった理由として「仕事・学業や家事・育児などで忙しいから」が5割を超えています。そして、活動しやすい時間帯には「土日祝日中（9時～18時）」が最も高く挙げられています。こうしたことから、今後、現在3割程度となっている参加者の割合を高めるために、ニーズが高い分野の参加機会を強化していくことや、イベントや講座などの時間帯への配慮が大切であるといえます。

また、区内には前述のような豊富な文化的、歴史的資源が数多く存在しています。これらの資源を活用することで、地域を知り、区内での文化芸術活動がさらに充実することが期待されています。

◆ 課題

- ① 鑑賞する機会を充実させることが、文化芸術分野の振興において重要な鍵となります。
- ② 参加の機会を増やすことで、文化芸術を楽しむ区民の様々なニーズに対応することが求められています。

- ③ 区内にある様々な歴史的資源を用いることで、文化芸術に親しむ機会が増加することが期待されます。
- ④ 様々な状況にある人が文化芸術分野に親しめるようにしていくことが求められています。

【基本的な方向】

(1) 鑑賞の機会と場所の提供・充実

- ・ 区民の文化芸術鑑賞が充実したものとなるようにするため、音楽や美術、書道など、文化芸術の鑑賞機会を充実し、提供していきます。その際には、ホールや展示会場を用いた鑑賞の機会のほか、公共空間を活用した鑑賞の機会も提供していきます。
- ・ 幼少の頃から文化芸術に親しむことのできる環境づくりのため、親子が一緒に様々な文化芸術に触れられる機会を設けていきます。

(2) 参加・創造・成果披露の機会と場所の提供・充実

- ・ 区民の参加の機会や創造活動を支援するため、文化祭や展示会などの機会を充実し、提供していきます。そして、文京区らしさを活かした、文化芸術の創造と発信を進めていきます。
- ・ 文化芸術活動の活性化や区民の意欲向上のため、成果披露の場を充実していきます。

(3) 地域の伝統や歴史に親しむ機会と場所の提供・充実

- ・ 区民が地域の文化や伝統を知り、さらに区の文化芸術活動が盛んになるよう、区内に豊富にある歴史的資源を活用し、史跡めぐりや歴史・伝統に関する講座などの機会の提供・充実を進めていきます。

(4) だれもが鑑賞・参加しやすい仕組みづくり

- ・ 様々な状況にある区民一人ひとりの文化芸術活動へのニーズの実現を応援するため、時間や場所など、活動にあたっての制約を除くための配慮と支援を行います。
- ・ 障害のある人もイベントや文化芸術に関する講座に参加できるよう、手話通訳やヘルパーなどの設置を検討します。

期待される効果 ※期待される効果は第4回分科会以降に決定

- ・ ●●●●

【事業例】※事業は生涯学習分野からの例。第4回分科会以降に決定

1 だれもが文化芸術に親しむことのできる機会の充実

| 事業名 | 概要 | 取組み主体 |
|-----------------------|---|-------|
| インターネットを活用した文京アカデミア講座 | 昼間の時間をとることが難しい社会人や小さい子どもがいる方、障害のある方など、外出が困難な方にも生涯学習の場を提供するため、自宅のパソコンから文京アカデミアの講座の受講を可能とする、インターネットを活用したe-ネットラーニングシステム*により「文京区配信講座」を実施する。 | |
| 生涯学習サポーターの養成 | 文京アカデミアの講座運営のサポーターを育成するため、養成講座を開講し、修了者の活用を図る。 | |

*e-ネットラーニングシステム：インターネットを通じて学習講座を配信することで、24時間自宅で学習できる環境を整備するシステム。

2 文化芸術活動を豊かにするための情報提供、相談体制の整備・充実

【現状と課題】

◆ 現状

本区では、区民が文化芸術活動により豊かな生活を送れるよう、関連する様々な情報を収集し、指定管理者が発行する機関紙やホームページなどを通して情報を提供してきました。

しかし、文化芸術活動に参加も鑑賞もしなかった理由として、「必要な情報がどこにあるか分からなかったから」が2番目に高くなっていることから、参加や鑑賞において、情報の有無が重要な点であることが分かるとともに、提供していた情報をさらに充実していくことや、情報の提供方法を工夫していくことが必要であるといえます。

また、情報の提供においては、若い世代にこの回答の割合が高いことから、あらゆる世代が情報を取得できるように配慮と工夫が必要であるといえます。情報は提供の仕方や、提供する場所、情報の配置などによってもその効果が変化することから、工夫を重ねていくことが大切であるといえます。

さらに、今後は、情報を提供するだけでなく、参加や鑑賞における区民の様々な疑問や悩みに対応できる相談先を強化していくことも必要であるといえます。

◆ 課題

- ① 区民に役立つ幅広い情報を提供するため、本区の文化芸術活動に関わっている様々な機関が実施しているイベントや文化芸術に関する講座の情報を収集し、一元管理していくことが求められています。
- ② あらゆる世代にとって分かりやすい、そして取得しやすい情報提供が求められています。
- ③ 文化芸術活動に関連する区民の様々な疑問や悩みに対応できるよう、相談体制を充実していくことが求められています。

【基本的な方向】

(1) 文化芸術関連の情報収集・整理

- ・ 区民の文化芸術活動に有効な様々な情報を収集するため、関係各部署や指定管理者、大学など関係する機関が行っているイベントや文化芸術に関する講座の情報を幅広く収集します。
- ・ 収集した情報は一元管理し、利用しやすいように整理を行います。

(2) 分かりやすい情報提供と幅広い情報発信

- ・ あらゆる世代にとって分かりやすい情報提供を進めていくため、区報や指定管理者の機関紙、ホームページなどの様々な媒体を用いて情報提供を行っていきます。
- ・ 分かりやすく、使いやすい情報提供を進めるため、区や参加者、活動者などが相互に情報をやりとりできる場を設けるよう検討していきます。

(3) 相談体制の整備・充実

- ・ 文化芸術活動に関連する区民の様々な疑問や悩みに対応できるよう、情報提供窓口やイベントの際の相談体制を充実させていきます。
- ・ 相談対応においては、区民が利用しやすいようにするため、窓口での対応のほか、電話やメールなどでも対応していきます。

期待される効果 ※期待される効果は第4回分科会以降に決定

- ・ ●●●●

【事業例】※事業は生涯学習分野からの例。第4回分科会以降に決定

2 文化芸術活動を豊かにするための情報提供、相談体制の整備・充実

| 事業名 | 概要 | 取組み主体 |
|-----------------------|---|-------|
| インターネットを活用した文京アカデミア講座 | 昼間の時間をとることが難しい社会人や小さい子どもがいる方、障害のある方など、外出が困難な方にも生涯学習の場を提供するため、自宅のパソコンから文京アカデミアの講座の受講を可能とする、インターネットを活用したe-ネットラーニングシステム*により「文京区配信講座」を実施する。 | |
| 生涯学習サポーターの養成 | 文京アカデミアの講座運営のサポーターを育成するため、養成講座を開講し、修了者の活用を図る。 | |

* e-ネットラーニングシステム：インターネットを通じて学習講座を配信することで、24時間自宅で学習できる環境を整備するシステム。

3 「文の京」の文化や歴史を未来に伝える仕組みづくり

【現状と課題】

◆ 現状

本区では、区内の豊富な歴史的・文化的資産を活用し、様々なイベントや文化芸術に関する講座を実施してきました。そしてそれらを担う人材として、生涯学習司や文の京地域文化インタープリターなど独自の資格を設け、人材育成を行うとともに、文化芸術分野の活性化を目指してきました。

また、前述の通り、初心者を含め、様々な区民のニーズに対応できるよう、バラエティに富んだイベントや文化芸術に関する講座を実施してきました。

しかし、調査では文化芸術活動に「参加したことがある」27.3%、「鑑賞したことがある」62.3%、「参加したことも鑑賞したこともある」は25.0%となり、参加したことのある区民の割合は約3割となっています。

こうした状況より、本区の文化芸術分野がさらに活発になっていくためには、文化芸術活動への区民の参加を促進し、文化芸術を楽しむ区民の裾野を広げていくことが重要であるといえます。そして、関わる区民の増加や初心者の増加とともに、継続して参加や鑑賞を行っていく人や団体の育成や、文化芸術分野について指導にあたり、継承したりできる人材の育成と発掘、活用へと、次第に高めていくことが必要であると考えられます。

◆ 課題

- ① 文化芸術分野を楽しむ人々を増やし、裾野を広げながら活性化していくことが求められています。
- ② 文化芸術活動に携わっている人や団体を支援して、活動者の増加を促していくことが求められています。
- ③ 本区の伝統や文化、その他文化芸術分野について教え、継承していくことのできる人材の育成が求められています。
- ④ 育成した人材や地域に存在する人材を活用し、経験や知識を地域に還元していくことが求められています。

【基本的な方向】

(1) 「楽しむ人」づくりの推進

- ・ 文化芸術分野を楽しむ区民の裾野を広げ、文京区の文化力を向上させるため、参加や鑑賞することのできる機会を増加し、「楽しむ人」づくりを推進していきます。

(2) 活動する人・団体への支援

- ・ 主体的な活動を支援していくため、要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、活動場所の優先予約等においてサポートしていきます。

(3) 伝える人の育成と発掘の推進

- ・ 文化や伝統を教え、継承していく人を育てていくため、人材育成講座を実施していきます。
- ・ 伝える人の充実を図っていくため、地域の中にいる人材を発掘するなどして、人材を確保していきます。

(4) 人材活用の推進

- ・ 文化芸術活動の充実のため、地域にいる人材を活用していきます。
- ・ 文化芸術に関する区民プロデュース講座を行うことにより、学習の成果を地域や区民に還元していきます。

期待される効果 ※期待される効果は第4回分科会以降に決定

- ・ ●●●●

【事業例】 ※事業は生涯学習分野からの例。第4回分科会以降に決定

3 「文の京」の文化や歴史を未来に伝える仕組みづくり

| 事業名 | 概要 | 取組み主体 |
|-----------------------|--|-------|
| インターネットを活用した文京アカデミア講座 | 昼間の時間をとることが難しい社会人や小さい子どもがいる方、障害のある方など、外出が困難な方にも生涯学習の場を提供するため、自宅のパソコンから文京アカデミアの講座の受講を可能とする、インターネットを活用した e-ネットラーニングシステム*により「文京区配信講座」を実施する。 | |
| 生涯学習サポーターの養成 | 文京アカデミアの講座運営のサポーターを育成するため、養成講座を開講し、修了者の活用を図る。 | |

* e - ネットラーニングシステム：インターネットを通じて学習講座を配信することで、24 時間自宅で学習できる環境を整備するシステム。

4 人、組織、施設などの連携・協働

【現状と課題】

◆ 現状

本区には 18 もの大学が多く存在しており、大学プロデュース講座や大学施設開放などを通して、連携・協働を進めています。調査においても、区が注力すべき課題として「大学の公開講座などを充実すること」24.2%が挙がっており、講座や図書館利用などにおいて、大学との連携強化が重要であるといえます。

また、古くから地場産業として栄えてきた医療機器や印刷・製本業の企業との連携・協働も進めており、メセナ講座開催や施設開放などで連携を図っています。企業によるメセナ活動は社会的にも注目を浴びており、今後も活発な連携と協力が期待されます。

さらに、本区では文の京ミュージアムネットワークを整備し、各博物館や美術館、庭園などの連携体制を構築しています。ネットワークには、本区の歴史や文化、暮らしに関する資料がテーマごとに展示されている「文京ふるさと歴史館」をはじめ、江戸時代初期に造られた小石川後樂園、湯島聖堂、大学にある博物館などが参加しています。文化芸術の基盤の充実や強化において、文の京ミュージアムネットワークを利用したこれら各施設との連携・協働は不可欠であるといえます。

そのほか地域との連携について、現在は、本区の文化芸術振興のため、活用する資源について近隣区との連携についても検討し、様々な資源の活用を図っています。今後は、こうした取り組みのほか、文化資源が地域住民の生活の中にあるため、それらを資源として活用していくことに対する理解を得たり、資源の保全において協力を得たりなど、区内の各地域や住民との連携・協働をより強化していく必要があるといえます。

区民一人ひとりの活動ニーズを満たすため、これら各種資源との連携・協働は重要な役割を持っているといえます。

◆ 課題

- ① 文化芸術において重要な文化資源においては、地域との連携・協働により活用していくことが必要です。
- ② 区民が文化芸術分野に深く関わっていくことができるよう、大学が保有している資料等を活用することが求められています。
- ③ 区民の様々な文化芸術へのニーズに対応できるよう、各種文化施設の活用が不可欠となっています。
- ④ 文化芸術分野の振興を企業や各種団体が保有している知識や経験を活用して進めていくことが求められています。

【基本的な方向】

(1) 区民や地域との連携・協働

- ・ 区内にある様々な歴史的・文化的資産を活用していくため、資源の活用において区民との連携・協働を進めていきます。
- ・ 多岐にわたる文化芸術活動を進めていくため、資源の活用においては近隣区との連

携も強化していきます。

(2) 大学や教育機関などとの連携・協働

- ・ 文化芸術分野の活動において、区民のニーズを満たせるよう、大学の人材を活用した文化芸術活動や、大学の施設開放を促進していきます。
- ・ 大学や教育関係者との連携・協働を進めていきます。

(3) 各種文化施設との連携・協働

- ・ 美術館や博物館などの活用を促進していくため、文の京ミュージアムネットワークを活用した各種文化施設との連携・協働を進めていきます。
- ・ 区民がより深く地域の歴史や文化に触れられるよう、文の京ミュージアムネットワーク加盟施設との連携においては、これら施設めぐりと座学を組み合わせたイベントなどを用意していきます。

(4) 企業・団体との連携・協働

- ・ 企業や各種団体が保有している知識や経験を活用して文化芸術分野の振興を進めていくよう、企業・団体との連携・協働を進めます。
- ・ 企業との連携においては、企業のメセナ活動や施設開放の要請などを行っていきます。

期待される効果 ※期待される効果は第4回分科会以降に決定

- ・ ●●●●

【事業例】※事業は生涯学習分野からの例。第4回分科会以降に決定

4 人、組織、施設などの連携・協働

| 事業名 | 概要 | 取組み主体 |
|-----------------------|---|-------|
| インターネットを活用した文京アカデミア講座 | 昼間の時間をとることが難しい社会人や小さい子どもがいる方、障害のある方など、外出が困難な方にも生涯学習の場を提供するため、自宅のパソコンから文京アカデミアの講座の受講を可能とする、インターネットを活用したe-ネットラーニングシステム*により「文京区配信講座」を実施する。 | |
| 生涯学習サポーターの養成 | 文京アカデミアの講座運営のサポーターを育成するため、養成講座を開講し、修了者の活用を図る。 | |

*e-ネットラーニングシステム：インターネットを通じて学習講座を配信することで、24時間自宅で学習できる環境を整備するシステム。